

大井第一 マイ・タウン 21

7月号(No96)

美化キャンペーン実施

六月五日 午前十一時、みなみ児童遊園横の京浜急行高架下に於いて、大井第一地区美化キャンペーン式典が執り行われました。

今回で第十八回となるこのキャンペーンは、地域環境の美化を広く啓発するために特にモデル地区をのいて行われるもので、本年度は大井元芝町会と大井立会町会が当番町会となります。

当番町会はそれぞれ「やめよう！ポイ捨て」の幟を掲げ、吸い殻や空き缶、ペットボトル等の不法投棄ごみを回収しながら会場に集合、式典では



年間の美化活動計画を発表した後、「環境美化宣言」を高くに行つて、決意を強く内外にアピールしました。地域美化は、只清掃活動にとどまらず、町内のモラル向上、ひいては安心・安全な街づくりにつながります。当番町会だけでなく、地域全体で日頃から心がけましょう。

東日本大震災

義援金と支援物資受付

品川区と災害時における相互援助協定を締結している、岩手県宮古市・福島県富岡町への義援金および支援物資を、区役所高齢者福祉課と地域センターで受け付けました。

大井第一地域センターでも多くの義援金と支援物資が集められました。寄付して下さいの皆様、ご協力ありがとうございました。

受付分は次のとおりです。

〔義援金〕

5月31日現在

○個人分（募金箱受付分）

金額 20万9,565円

○団体受付分

件数 22件

金額 167万1,533円

〔支援物資〕4月15日受付終了

*量の少ない物は、数量省略。

- 飲食物（米＝20kg・ペットボトル500ml＝38本・レトルトライス・缶詰・粉ミルク・カップ麺・即席ラーメン 他）
- 衣類（ズボン・下着・靴下・Tシャツ 他）
- 生活用品（マスク＝約2,800枚・タオル＝146枚・子供用紙おむつ＝354枚・大人用紙おむつ・BOXティッシュ・トイレトペーパー・生理用品・毛布・ひざ掛け・手ぬぐい・歯ブラシ・石鹸・軍手・使い捨てカイロ 他）

「馬から人を元気にした」

節電ナイターの実施

大井競馬場より

三月十一日の東日本大震災当日、大井競馬場は開催中でした。地震の後、第十レース以降のレースを取り止めとしました。

幸いにもお客様にはお怪我等無く、馬や建物等の被害もございませんでした。夜になると、近隣の職場の方や帰宅困難者の方十名程度が広域避難場所である競馬場にお越しになり、一夜を過ごされました。

その後、電力不足によるスボーツ関係の自粛等もあり、三月末の開催は中止とし、四月十八日から再開致しました。当初ナイターの予定でしたが、昼間開催に変更し、四月二十二日まで実施致しました。

五月九日からは「節電ナイター」と銘打ち、普段の使用

電力から三十五%程度削減した形で、大井競馬の代名詞とも言えるトゥインクルレースを実施させて頂いております。実施にあたつては、レースに影響を及ぼさない照度を何度も検証しました。また、復興支援として、売上げの一部を拠出致します。

大井競馬所属のジョッキー（騎手）達も、自主的に大森駅等で募金活動を行わせて頂いております。

「馬から人を元気にした」を合言葉に、大井競馬場から日本を元気にすべく、今後も邁進して行く所存です。

大井第一地区の皆様におかれましては、ご理解ご協力のほど、何卒お願い申し上げます。

小・中学校

校長・副校長先生紹介

・ 鯨浜小学校 校長 加藤 敏 副校長 木村 巳典	・ 立会小学校 校長 星野 豊 副校長 栗飯原 誠	・ 浜川小学校 校長 矢田 雅久 副校長 中田 誠	・ 鈴ヶ森小学校 校長 太田 裕子 副校長 名取 仁史	・ 浜川中学校 校長 米塚 裕貴 副校長 杉浦 雅人	・ 鈴ヶ森中学校 校長 山口 久憲 副校長 小宮山 琢磨
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

敬称略、 は新任・転任

小・中学校

卒業生・新入生数

小学校

・ 鯨浜小学校 卒業生 三十一名 新入生 二十四名	・ 立会小学校 卒業生 九十三名 新入生 八十九名	・ 浜川小学校 卒業生 六十五名 新入生 五十六名	・ 鈴ヶ森小学校 卒業生 六十八名 新入生 八十九名	・ 浜川中学校 卒業生 七十二名 新入生 五十九名	・ 鈴ヶ森中学校 卒業生 八十七名 新入生 八十六名
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

民生委員・児童委員紹介**民生・児童委員****（品川区高齢者相談員）**

横山 修一さん

民生委員？。町会役員の方に声をかけられた時は、聞いた事はありませんが実際どのような事をしているのか良く知りませんでした。民生委員の方に話を伺い「地域の相談役、その中で一人住まいの高齢者と高齢者ご夫婦のお宅を定期的に訪問する事が主体」と聞かされ「私でも大丈夫かな」と思いましたが「何か一つでも世の中の役に立つ事をして良いのでは」と言われ引き受ける事にしました。

初めの内は顔と名前を覚えて頂けるのに時間が掛かりましたが、回を重ねる毎に会話が出来るようになってきました。特に三月十一日の大地震

直後、担当区域のお宅を安否伺いに訪問した事で皆さんとの距離が少しですが近くなったと思います。

その時は全員無事で良かったと思うと同時に、連絡しただけでつながらなかった「ベツド横のタンスの上にあるガラスケースを移動して欲しい」等の声もありました。もし避難場所に移動する事になればエレベーターが停止している建物から足の不自由な方達を無事に移動するには、近隣の方々の協力がないと難しいと思っています。

大災害が起きない事を祈ると共に、今後、私の父母、叔母の三人を同時期に自宅で世話をした事と、三人の子育てをした事が少しでも人様のお役に立てる事が有ればと思っています。

主任児童委員を拝命して

伊藤 香代美さん

皆さま、こんにちは。

昨年十二月、大井第一地区

主任児童委員に任命されました、伊藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

これまで『主任児童委員』という立場の方がいらつしやる事もよく知らないでいましたので、お話を伺い、本当に大変な内容なので気を引き締めてお受けしなくてはいいなと思います。

主任児童委員という名前の通り、対象は子ども、そして家庭です。

「未来ある子どもを守り、健やかな成長をサポートする」事が目的なので、学校・地域・区役所等との連携が重要なのだと痛感しています。

先輩の方々が、その連携の

土台を築いて下さったおかげで、地域の民生委員の皆様にも、様々にご協力をいただいております。

地域の為に何か少しでもお役に立てたら...と思い、受けさせていただきましたが、まだほんの一步を踏み出したに過ぎません。

このお仕事の大変さや深い内容を理解するのはこれからだと思います。

先輩の皆様、地域の皆様にご指導いただきながら前進していきます。

今後共どうぞよろしくお願い致します。

